

県立広島病院 がん相談支援センターニュース

2024年度VOI.1

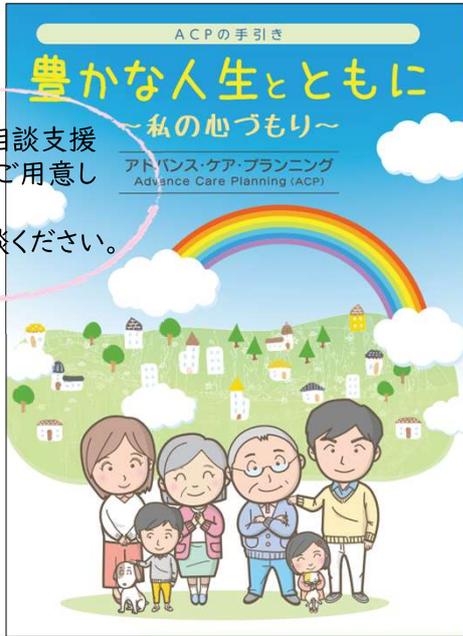
どのように生きて、
どのように過ごしたいか、
話し合いができていますか？

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みを「**人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)**」と呼びます。

命の危険が迫った状態になると、約70%の人が医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えることができなくなると言われています。「人生の最終段階」が訪れたときに、どのように過ごしたいか、何を大切に生きていきたいかについて、主治医や家族と話し合い、共有することが重要です。共有するための書類(私の心づもり)がありますのでご活用ください。

広島県地域保健対策協議会が、ACPの手引き、私の心づもりを作成しています。

書類はがん相談支援センターにもご用意しています。気軽にご相談ください。



私の心づもり

将来、自分自身で自分のことを決められなくなった時に備えて、今のあなたの希望や思いを整理してみましょう。ACPの手引きを参考に、以下の設問にお答えいただきながらご家族やあなたの代わりに意思決定してくれる人(代理人)、医療者と話し合いを持ちましょう。

希望や思いについて考えましょう

あなたが大切にしたいことは何ですか？(いくつ選んでも結構です)

- 家族や仲間と過ごすこと 家族や友人と十分に時間を過ごすこと
- 身の回りのことが自分でできること 落ちついた環境で過ごせること
- 人として大切にされること 人生をまっとうしたと感じること
- 社会や家族で役割が果たせること 個人だ場所でも過ごせること
- 痛みや苦しみが少なく過ごせること 医師と信頼できること
- 人の迷惑にならないこと 納得いくまで十分な治療を受けること
- 自然な形で死を迎えること 大切な人に伝えたいことを伝えること
- 先々に起こることを詳しく知っておくこと 病状や死を尊重せずに過ごすこと
- 他人に弱った姿を見せないこと 生きていくことに価値を感じられること
- 信仰に支えられること その他()

健康について学び、考えましょう

1) あなたの今の健康状態について理解できていると思いますか？
 はい いいえ

2) あなたの健康状態や病状について、どのような経過をたどるかなど、詳しい説明を受けたいですか？
 はい いいえ

3) 受ける治療に関して、希望がありますか？ 健康な方は「もし病気になったら」を設定してお答え下さい。(いくつ選んでも結構です)

- 一日でも長く生きられるような治療を受けたい
- どんな治療でも、とにかく効果のあるものを積極的に治療を受けたい
- 苦痛を和らげるための十分な薬物や治療を受けたい
- 痛みや苦しみが無く、自分らしさを保つことに重点を置いた治療を受けたい
- できるだけ自然な形で鎮痛剤を処方されるような必要最低限の治療を受けたい
- その他()

4) 将来、認知症や脳の障害などで自分で判断できなくなった時、あなたの希望は、以下のどれですか？(一つ選んでください。)

- なるべく迷惑をかけずに自宅で生活したい
- 家族やヘルパーなどの手を借りながらも自宅で生活したい
- 病院や施設でも良いので、食事やトイレなど最低限自分でできる生活が望ましい
- 病院や施設でも良いので、とにかく長生きしたい
- その他()

5) 将来、病状が悪化したり、もしもの時が近くなった時には、どこで療養したいとお考えですか？
 自宅 自宅以外(病院 介護施設 その他()) わからない

6) もしもの時が近くなった時に「延命治療」を希望しますか？
 はい いいえ わからない

*「延命治療」とは、病状が治る見込みがないにもかかわらず、延命する(死の回避や苦痛を和らげる)ことでもあります。そのため医療従事者を参照してください。

あなたの代わりに伝えてくれる人を選びましょう

1) あなたの代わりに意思決定をしてくれる方はいますか？
 はい いいえ

1) の質問で「はい」と答えられた方にお尋ねします
2) その方はあなたの希望や価値観に配慮して、意思決定をすることができますか？
 はい いいえ

希望や思いについて話し合います

考えを「私の心づもり」に書きましょう

自由記載欄(その他、あなたの思いがあればお書きください)

・記載年月日 20 年 月 日
・本人氏名 _____
・代理人氏名 _____
・話し合った日 20 年 月 日
・話し合った医療者 _____

制作：広島県地域保健対策協議会



※希望や思いは時間とともに変化したり、健康状態によって変わる可能性があります。その都度「私の心づもり」を見直し、書き直しをしてもかまいません。



広島県/
ACP(アドバンス・ケア・プランニング、愛称『人生会議』)の普及促進よりダウンロード可能です。

広島県 ACP

がんの治療中や緩和ケアが必要な状態でも
在宅医療を受けながら、住み慣れた家であなたらしく過ごす方法があります。

がんの 在宅医療 ってどんなことができるの？

- ・ 在宅医や訪問看護師がご自宅に訪問し、診察やケアを受けることができ、必要な場合に入院することもできます。
- ・ 家で点滴をしてもらったり、酸素吸入や医療用麻薬を使った痛みの治療を受けることができます。
- ・ 状況に応じて、介護保険を利用して、日々の生活に必要な支援を受けることができます。

入院療養と在宅療養のメリット、デメリットをふまえて、あなたらしく過ごす方法を考えてみませんか。

入院療養	在宅療養
他の患者さんや医療者がいる場での生活	家族や親しい人、ペットなどとともに過ごすプライベートな生活
24時間医療従事者が対応してくれる	訪問診療等を利用しつつ、家族や親しい人によるケアやサポートを受ける
医療機関側のスケジュールに合わせて過ごす（検査、食事、入浴、消灯時間等）	時間や規則にとらわれず、自分や家族のペースに合わせて過ごせる
仕事や学業から長期間離れなければならぬことがある	仕事や学業から長期間離れずに済む、工夫して続けられることが多い
決められた時間に家族が面会に来院する（感染防止などの観点で面会が制限されることがある）	家族や親しい人と、時間に縛られずに過ごせる
原則として公的医療保険制度を利用する	状況により、公的医療保険制度に加え介護保険や地域独自の支援、費用負担を軽減する助成などを利用することが可能

地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報普及と活用プロジェクト/がん患者さんご家族をつなぐ在宅療養ガイドより

在宅医療を支えてくれる人たち

在宅医

保険薬局
薬剤師

在訪問看護師

理学療法士
作業療法士

在訪問歯科医



ケアマネージャー

日々の生活に必要な支援を調整してくれます。

地域包括支援センター

病院

緩和ケア病棟

ショートステイ

介護施設

症状コントロールや
お体の状態により一定期間
入院、入所も可能です。

健康保険を使って、自宅で様々な医療を受けられます。

県内の療養生活に役立つ情報が満載の冊子があります！

がん相談支援センター 事業のご案内

2024年度がんサロンの予定(9月～3月)

日程	テーマ(仮)	講師
9/18(水)	泌尿器のがんを学ぼう	泌尿器科 神明 俊輔 医師
10/23(水)	がん治療中・治療後の運動	リハビリテーション科内堀 靖忠理学療養士
11/22(水)	肺がんを学ぼう	呼吸器内科 益田 健 医師
12/20(金)	ゲノム医療を学ぼう	ゲノム診療科 土井 美帆子 医師
1/22(水)	がんとの付き合い方	がんピアサポーター 中司 聖子さん
2/26(水)	制度と医療費	患者総合支援センター 田中透MSW
3/19(水)	膵臓がん・胆のう・胆管がん	臨床腫瘍科 山内 理海 医師



がん専門医よろず相談所

当院では、毎週火曜日にがんの専門医による無料相談を行っています。主治医に聞きたいけれど聞けないことや、主治医以外の医師の意見を聞いてみたい方などへ医師の立場で相談に応じます。

問い合わせ・お申込み先：がん相談支援センター-082-256-3561

